

出展機器等の概要

1. 障害者が自立して住みやすい住環境モデルの構築
 - (1) 肢体不自由者向け
家具が移動するアクティブキャスターと音声とジェスチャーを認識する機器の紹介（展示及びデモ）
 - (2) 脳機能障害者向け
調理支援システム及び電波で人間の位置を計測するセンサモジュールの紹介（展示及びデモ）
 - (3) 視覚障害者向け
3次元位置を計測できる電波タグ、及び鍵等に取り付けるブザー付きタグの紹介（展示及びデモ）
※このほか試作機器により住宅設備の操作を行う様子をビデオにて紹介
2. 文字情報を暗号化したコードを音声化できる携帯電話または携帯端末の開発
音声コードを携帯電話で読み、音声で表示する携帯端末の紹介（展示及びデモ）
3. 音声コード読み取り作成に関するソフトおよび携帯型機器の開発
QRコード、SPコードの音声コードを読み取り再生するソフトウェアと携帯型機器（展示及びデモ）
4. 携帯電話の両面にも装着可能な、軽量で薄い（薄さ約1mm）点字デバイスの開発
携帯電話のサイズで点字を表示できる試作機（6文字及び24文字）の紹介（展示及びデモ）
※平成22年2月23日（火）に放映されたニュースウオッチ9（NHK）にて紹介されました。
5. 文字情報を暗号化したコードを音声化できる携帯電話の開発
音声コードやホームページの読み上げ、画像拡大、反転処理、デイジー（DAISY）図書再生を行う携帯端末の試作機の紹介（展示及びデモ）

6. 画像・GPS等のセンサ統合による日常利用可能な屋内外視覚障害者歩行支援システムの開発
カメラ、PDR（歩行者デッドレコニング、相対位置や方位計測に利用）、LRF（レーザレンジファインダ、障害物検知などに利用）付き音声点字携帯端末の試作機の紹介（展示及びデモ）、実証実験の様子（ビデオ）
7. 裁判員制度、病院関連等で使用される用語を含んだ手話単語辞書および手話文を作成するツールの開発
三次元コンピュータ・グラフィックスを用いた効率的な手話作成ツール及び裁判員制度で使用される手話単語辞書の紹介（展示及びデモ）
8. 安全に配慮された電動車いす
人混みでぶつからずに移動できる電動車いすの紹介（展示及びビデオ）のほか、斜面を横切る際に下に落ちていかず（片流れせず）かつ段差乗り換えの際に転倒防止バーが働く車いすの紹介（展示及びビデオ、「段差越え」のデモを予定）
9. 生体ゆらぎを低減する脳血液量計測技術を用いた意思伝達装置の開発
既製品の「心語り」の半分以下の時間で、容易に使える精度の高い試作機の紹介（展示及びデモ）
10. BMI型生活環境制御装置の小型化と実証評価に関する開発研究
在宅や病院で臨床評価試験を行うために小型化した試作中の脳波計などBMI型生活環境制御装置（展示）および患者・障害者による試用の紹介
11. 重度運動機能障害者の意思伝達を支援する認知型BMI技術の開発
発話や書字が困難な方のコミュニケーションを支援するソフトウェアと試作機器の紹介（展示及びデモ）
※自分の分身のCGキャラクター（アバター）が発する人工音声によって意思伝達を容易にするアプリケーションなどの紹介（デモ）
12. スポーツ用義足の膝継手、板バネ等の開発
デザインアプローチが、躍動・自己表現を引き立てる「美しいスポーツ用義足」の紹介（展示及びビデオ、モデルによるデモを予定）
※バンクーバーパラリンピックにて、クロスカントリースキーの日本選手では唯一の大体切断者の義足（膝の部品）に成果の一部を活用する予定（3月18日、21日に出場予定）。